

科目名	精神看護方法 I (対象の理解) Psychiatric Nursing I		担当教員 (研究室番号)	荒木 学 (403) 犬飼さゆり (401)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	2年次 後期	科目 区分	専門科目・広域看護学		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	本科目は、精神疾患・精神障がいを抱えながら生きる人々やその家族の体験を理解し、臨床症状、治療法、リハビリや主体性を支援する看護方策について理解することを目的としている。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。(思考・判断)										
	関連するDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解) F 地域社会に暮らす人々の健康課題の解決に向けて、対象に応じた看護を提供できる。(技能・表現)										
到達 目標	1. 各精神疾患の病態、症状、治療を理解し、必要とされる看護について考えることができる。 2. 精神障がいを抱える人々の体験を理解することができ、リハビリや主体性を支援する看護について考えることができる。 3. 精神障がい者や家族の生活上の諸問題、必要な援助について考察し自分の意見を述べるができる。											
成績評価方法 (基準)	①課題提出20%、②期末試験80% ※出席状況：科目合計点より出席状況に応じて最大10%までの減点をする。											
再試験の有無と 基準等	再試験：有(科目不合格者のうち課題の提出がされており、期末試験を受験した者へののみ再試験を実施) 再試験は筆記試験とし、再試験受験者の成績評価は再試験100%とする											
教科書	・精神看護学Ⅰ こころの健康と地域包括ケア(改定第3版)、南江堂、2022。 ・精神看護学Ⅱ 地域・臨床で活かすケア(改訂第3版)、南江堂、2022。											
参考書等	・看護判断のための気づきとアセスメント 精神看護、中央法規出版、2021。 ・他、授業時に随時紹介											
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と学生 への期待	精神看護学概論では「私たちの生活とメンタルヘルス」のつながりについて学びました。この精神看護方法Ⅰでは、精神科の治療が必要となっている状態にある方について学びます。精神疾患を抱える人の病態、症状、治療について理解を深め、必要とされる看護について学んでいきましょう。											
備考	・精神看護学概論を習得していないと履修できない。 ・本科目は精神看護学方法Ⅱの先修条件である。											
回	学習項目			学習内容						主担当 教員	授業 方法	
1回	オリエンテーション 精神疾患の成り立ち 精神症状のアセスメント			・オリエンテーション(授業予定、評価方法の説明) ・精神疾患の分類について学ぶ ・精神症状のアセスメントについて学ぶ						荒木	講義	
2回	神経性障害、ストレス関連障害および身体症状 症の理解と看護			・神経性障害(不安症、強迫症)、ストレス関連障害・解離症・身体症状の病態・症状・治療と看護について学ぶ ・社会復帰への支援、家族支援について学ぶ						荒木	講義	
3回	統合失調症と関連疾患の理解と看護①			・統合失調症の病態、症状、診断方法、主な治療について学ぶ ・急性期にある統合失調症患者への生活と看護について学ぶ ・リハビリ・ストレスングスについて学ぶ						荒木	講義	
4回	統合失調症と関連疾患の理解と看護②			・統合失調症の病態、症状、診断方法、主な治療について学ぶ ・慢性期にある統合失調症患者への生活と看護について学ぶ						荒木	講義	
5回	気分障害の理解と看護			・気分障害の病態・症状・治療と看護について学ぶ ・社会復帰への支援、家族支援について学ぶ						荒木	講義	
6回	神経発達障害、知的能力障害の理解と看護			・神経発達障害、知的能力障害の病態・症状・治療と看護について学ぶ ・社会復帰への支援、家族支援について学ぶ						犬飼	講義	
7回	認知症の理解と看護			・認知症の病態・症状・治療と看護について学ぶ ・社会復帰への支援、家族支援について学ぶ						学外協力者	講義	
8回	アディクションの理解と看護 パーソナリティ障害の理解と看護 摂食障害の理解と看護			・アディクション(アルコール使用障害、薬物使用障害など)の病態・症状、精神障害、身体障害、行動異常、社会的障害について理解し、治療と看護について学ぶ ・パーソナリティ障害、摂食障害(神経性無食欲症・神経性過食症)の病態・症状・治療と看護について学ぶ ・社会復帰への支援、家族支援について学ぶ						荒木	講義	

## 学 習 課 題

- 1回目課題(事前)：教科書関連部分(Ⅱ p.1-32, 98-104)を読んでおく。  
 2回目課題(事前)：教科書関連部分(Ⅱ p.70-75)を読んでおく。  
 3回目課題(事前)：教科書関連部分(Ⅱ p.57-63)を読んでおく。  
 4回目課題(事前)：教科書関連部分(Ⅱ p.57-63)を読んでおく。講義内で課題(20%)説明。  
 5回目課題(事前)：教科書関連部分(Ⅱ p.63-70)を読んでおく。  
 6回目課題(事前)：教科書関連部分(Ⅱ p.92-95)を読んでおく。  
 7回目課題(事前)：教科書関連部分(Ⅱ p.86-92)を読んでおく。  
 8回目課題(事前)：教科書関連部分(Ⅱ p.75-86)を読んでおく。

## 実務経験を活かした教育の取組

- ・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。